

ひまわり



令和6年度 第7号
大道小学校便り
令和6年12月9日
文責 山西 ふじ子

生き方に学ぶ

11月10日、ひまわりフェスタを開催したところ
たくさん保護者の皆様の参加があり、児童がいつも
以上にはりきって活動している様子が印象的でした。

1年生から4年生までは、芋掘り、うちわづくり、大豆料理、勾玉づくりと、それぞれに体験活動を企画し、県や山鹿の専門家や地域の皆様にご協力いただきました。土に触れたり料理をしたり、職人さんや学芸員さん達に教わるという体験を通して、自分の興味関心を見つめ直す、よいキャリア教育になりました。



5年生、6年生は、保護者さんを講師に迎え、職業講話を実施しました。泉愛子さん（農業の仕事）高山大輔さん（会社の仕事）市原勇生さん（お菓子の製造販売の仕事）宮牟禮絵里歌さん（美容師の仕事）と、様々な職業人に出会い、仕事の喜びや苦労を知り、これからの自分の目標や夢につなげてほしいと企画しています。「前向きな心、明るさ、素直さが一番大切だよ」「何でも最初は大変だけれど、慣れてくれれば周りが見えてくるもんだ」など、優しさいっぱいのメッセージをいただきました。

児童の感想には、それぞれの職業に対して興味がわいたこと、講師の仕事に対する情熱や大切にされていること、これまで努力されたことなどが、勉強になったと綴られていました。自分たちの夢に向かって何をすべきか考え、少し大人になった時間だったようです。お世話になった皆様、大変ありがとうございました。



人権尊重

12月6日の人権学習授業参観も大変お世話になりました。学年の発達段階に応じた教材を使って人権学習が行われていたと思いますが、どの学年も目指すところは、自他の人権尊重です。児童は、「〇〇だから」といろいろな理由をつけて態度を変えたり仲間外しをしたりすることの理不尽さに、自分は気づいているか、気づいて行動できているか、立ち向かっていけるか等、自分の問題として振り返っていました。

PTA教育講演会においては、県の情報教育推進に長年携わってこられた戸田俊文先生（現：真和中学・高校情報担当講師）に「ネット社会を賢く豊かに生きる子どもたちの育成」と題して御講話いただきました。小中学校の授業にタブレットが導入されて4年ほどですが、高校では、「情報」が必須教科となり大学入試の科目に入っているぐらい、ネット社会は、今の子ども達には避けて通れない場所になりつつあります。

一方で、ネットの中における人権侵害も深刻化しています。子ども達が他者の人権を侵すことなく、自分で自分の人権を守るためのヒントをいただきました。「表現力、コミュニケーション、想像力」学校でもご家庭でも、ぜひ育てていきたい力です。

